



インドネシア・ハサヌディン大学の Hasanuddin University Faculty of Nursing 看護教員が来校されました

インドネシアは近年高齢化が進んでおり、2020年度からNCGM国際医療協力局の医療技術等国際展開推進事業として、高齢者看護の研修を行っています。また、本学は同事業に関わる大学等と協定を結び、交流を行っています。

2022年10月7日(金)、ハサヌディン大学の看護教員が来日の機会に本学を訪れてくださいました。本学で講演して頂き、また学内見学と学生・教職員との交流をされました。

今回の来校は本学にとっても久々の国際交流となりました。ご来校くださった皆様、誠にありがとうございました。



記念品
来校の記念として
楯を頂きました。
図書館展示中です。



左より
看護副学部長Dr. Syahrul Said,
S.Kep., Ns., M.Kes., Ph.D,
Vice Dean for Acadmic & Student
看護学部長Dr. Ariyanti Saleh,
S.Kp., M.Si, Dean
萱間大学校長、飯野看護学部長



**講演会：「インドネシアの老年看護
の現状と将来の展望」**
インドネシアの医療現場の実際がよくわかる内容で、学びを深められたと思います。講堂とオンラインで40名以上が参加しました。

ハサヌディン大学・国際交流室長
Andi Masyitha Irwan, S.Kep., Ns, MAN, PhD
Head of the International Office

施設見学

図書館と各実習室一つ一つの設備をじっくりと見学され、また感嘆されていました。



図書館のインドネシア特設展示コーナーにて



助産科目の学内演習



心音聴診シミュレーター



ナイチンゲールの初版本を
ご覧になっています。



在宅看護実習室(洋室)